

## 皮膚病態学分野

### 論文

#### A 欧文

##### A-a

1. Ueo D, Utani A, Okubo Y, Yozaki M, Mine Y, Anan T, Nishida H, Takahashi D, Sakai T, Hatano Y, Fujiwara S: Familial primary localized cutaneous amyloidosis in a Japanese family. *J Dermatol Sci*, 83(2): 162-4, 2016 (IF: 3.739)
2. Kuwatsuka S, Kuwatsuka Y, Takenaka M, Utani A.: Case of photosensitivity caused by fenofibrate after photosensitization to ketoprofen. *J Dermatol*, 43(2): 224-225, 2016 (IF: 1.577)
3. Ashida M, Koike Y, Kuwatsuka S, Ichinose K, Migita K, Sano S, Utani A: Psoriasis-like lesions in a patient with familial Mediterranean fever. *J Dermatol*, 43(3): 314-317, 2016 (IF: 1.577)
4. Honda M, Tomimura S, de Vega S, Utani A: Multiple dermatofibromas in a patient with Down syndrome. *J Dermatol*, 43(3): 346-348, 2016 (IF: 1.577)
5. Oiso N, Okubo Y, Utani A, Kawada A: Pseudoxanthoma elasticum with peculiar acne scar of the neck: Dermoscopic features of tissue bridges as intact skin between crater-like acne scars. *J Dermatol*, 43(4): 454-6, 2016 (IF: 1.577)
6. Hattori Y, Ikeuchi T, Kuroda Y, Matsugi K, Minami S, Higuchi T, Zaima M, Ishitoya S, Yamauchi C, Onishi H, Kawamura J, Kitoh K, Oshiro O, Yamamoto Y, Utani A, Hattori N: Postoperative gluteal skin damage associated with latent development of gluteal muscle damage. *J Dermatol*, 43(5): 547-52, 2016 (IF: 1.577)
7. Murayama N, Koike Y, Ikehara S, Okubo Y, Tomimura S, Utani A: Is bevacizumab a culprit of intractable skin ulcers? *J Dermatol*, 43(8): 972-4, 2016 (IF: 1.577)
8. Kamio Y, Kanazawa N, Mine Y, Utani A: Intractable leg ulcers in Blau syndrome. *J Dermatol*, 43(9): 1096-7, 2016 (IF: 1.577)
9. Koike Y, Utani A: Generalized Hyperkeratotic Plaques in a Baby with a Milk Allergy. *Pediatr Dermatol*, 33(4): 457-8, 2016 (IF: 1.163)

#### B 邦文

##### B-a

1. 村山直也, 宇谷厚志: 【全身性強皮症とその鑑別疾患-より早期に、正確に診断するために】 (Part2.)皮膚硬化を来す疾患(case 06) 後頸部に限局して発症した浮腫性硬化症. *Visual Dermatology*, 15(1): 54-55, 2016
2. 大仁田亜紀, 大久保佑美, 内藤慎二, 田場 充, 一ノ宮 愛, 石丸志帆子: 尖圭コンジローマ: エトレチナート内服治療. *Visual Dermatology*, 15(8): 816-818, 2016
3. 東 美智子, 東 江里夏, 芦田美輪, 小川文秀, 林 徳真吉, 宇谷厚志: 前額部に紅斑局面、体幹四肢に丘疹・紅斑を呈した IgG4 関連疾患の特異疹の 1 例. *西日本皮膚科*, 78(1): 24-28, 2016
4. 鉦塚さやか, 鉦塚 大, 富村沙織, 山岡俊文, 岩田洋平, 武石恵美子, 小川文秀, 土居剛士, 廣瀬寮二, 宇谷厚志: 長崎大学病院皮膚科における 10 年間の乳房外 Paget 病 33 例の統計. *長崎医学会雑誌*, 91(1): 7-13, 2016
5. 福地麗雅, 鉦塚 大, 富村沙織, 武石恵美子, 山岡俊文, 亀山雄一郎, 小川文秀, 土居剛士, 廣瀬寮二, 宇谷厚志: 長崎大学病院皮膚科における悪性黒色腫 72 症例(2001~2010 年)の統計的検討. *長崎医学会雑誌*, 91(2): 95-101, 2016
6. 鉦塚 大, 池原 進, 宇谷厚志, 吉見公佑, 松尾朋博, 大場康司郎, 酒井英樹: 陰茎包皮から発生した陰茎癌の 1 例. *日本皮膚外科学会誌*, 20(2): 140-141, 2016
7. 池原 進, 鉦塚 大, 小川文秀, 牧山純也, 新野大介, 大島孝一, 宇谷厚志: 化学療法と 2 度の骨髄移植により長期寛解を維持している芽球性形質細胞様樹状細胞腫の 1 例. *皮膚科の臨床*, 58(2): 271-274, 165-166, 2016
8. 佐藤之恵, 原 肇秀, 大久保佑美, 鉦塚 大, 宇谷厚志: 【鑑別に苦慮した皮膚病(2)】 <臨床例>弾性線維性仮性黄色腫との鑑別を要した腋窩の多発性丘疹の 2 例. *皮膚病診療*, 38(6): 595-598, 2016

##### B-b

1. 竹中 基: 急性骨髄性白血病の治療中にみられた陰囊部フサリウム感染症. *Medical Mycology Journal*, 57(2): J65-J69, 2016
2. 竹中 基: 皮膚科医必見!真菌症アトラス 深在性皮膚真菌症と原因真菌. *医薬の門*, 56(5): 248-250, 2016

##### B-c

1. 竹中 基: 爪白癬の外用治療 従来の外用抗真菌薬と爪白癬専用抗真菌薬はどこが違うのか? (常深祐一郎, 宮地良樹(編): ファーマナビゲーター 爪白癬治療薬編, メディカルレビュー社, 東京, pp.242-247 所収) 2016
2. 竹中 基: Question & Answer: green nail について教えてください. (常深祐一郎, 宮地良樹(編): ファーマナビゲーター 爪白癬治療薬編, メディカルレビュー社, 東京, pp.336-338 所収) 2016

3. 宇谷厚志：弾性線維性仮性黄色腫。（佐藤伸一，藤本 学（編）：皮膚科研修ノート，診断と治療社，東京，pp.386-387 所収）2016

B-d

1. 宇谷厚志：本邦弾性線維性仮性黄色腫の重症度判定ならびにガイドライン作成。稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究，平成 27 年度厚生労働科学研究費（難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業））分担研究報告，pp.57-64，2016
2. 宇谷厚志，大久保佑美，清原龍士：長崎県油症認定患者における末梢血リンパ球分画の検討。食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究，平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金（食品の安全確保推進研究事業）分担研究報告。 pp.60-64，2016
3. 宇谷厚志，富村沙織：油症認定患者における soluble CD27 の検討。食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究，平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金（食品の安全確保推進研究事業）分担研究報告。 pp.65-68，2016

B-e

1. 竹原和彦，宇谷厚志：【教育講演 16】エリテマトーデス・強皮症。（古川福実（編）：Derma Dream—第 114 回日本皮膚科学会総会記念誌—，メディカル・プロフェッショナル・リレーションズ(株)，東京，pp.68-71 所収）2016
2. 竹中 基：真菌培養。（第 1 回皮膚科感染症サマースクールテキスト，pp.8-16 所収）2016

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	1	4	2	39

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
宇谷厚志・教授	油症対委員会委員	長崎県
宇谷厚志・教授	油症研究班班長	長崎県
宇谷厚志・教授	カネミ油症患者診定専門委員	福岡県
宇谷厚志・教授	指定難病審査会委員	長崎県
宇谷厚志・教授	理事	日本結合組織学会
宇谷厚志・教授	評議員	日本研究皮膚科学会
宇谷厚志・教授	評議員	日本皮膚悪性腫瘍学会
宇谷厚志・教授	評議員	日本乾癬学会
宇谷厚志・教授	代表世話人	日本褥瘡学会九州・沖縄地方会
竹中 基・准教授	評議員	日本皮膚アレルギー接触皮膚炎学会
原 肇秀・講師	世話人	日本褥瘡学会九州・沖縄地方会
富村沙織・講師	油症対策委員会委員	長崎県

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
宇谷厚志・教授	日本医療研究開発機構	代表	難治性疾患実用化研究事業 遺伝性皮膚疾患における変異同定並びにナンセンス変異読み飛ばし試薬による治療法開発
宇谷厚志・教授	日本医療研究開発機構	分担	難治性疾患実用化研究事業 ゲノム不安定性を示す難治性遺伝性疾患群の症例収集とゲノム・分子機能解析による病態解明研究

宇谷厚志・教授	厚生労働省	分担	難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究
宇谷厚志・教授	厚生労働省	分担	食品の安全確保推進研究事業(カネミ油症に関する研究) 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と その治療法の開発等に関する研究
宇谷厚志・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) ケロイド特異的発現分子の網羅的検索とその機能解析
鉄塚 大・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) ケロイド発生病態に HDAC 阻害剤が及ぼす影響の検討
小池雄太・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 皮膚創傷断端表皮細胞における上皮間葉移行の機序解明
宇谷厚志・教授	宇部興産(株)		合成部材を用いる細胞培養とその応用

## その他

### 新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
竹中 基・准教授	大学病院だからできる治療と情報提供を	九州医事新報	2016/7/20	皮膚アレルギー疾患と皮膚真菌感染症について、最近の動向を紹介し、大学病院での検査や治療について説明した。

### ○特筆すべき事項

I. カネミ油症の診断、治療の改善を目的とした厚生労働省の食品の安全確保推進研究事業に参加し、下記の協力を行ってきた。

①油症検診：昭和43年以来、毎年1回長崎県下各地での検診を行っている。

②研究事業：油症患者の毛髪、皮下脂肪織、皮脂中の有機塩素化合物の定量、ポルフィリン代謝異常に対する影響などを検討し、油症にみられる全身的悪影響を検討、発表している。

II. ひふの日に公開講座を開いて啓発活動を行っている。